

1121. 1. 16

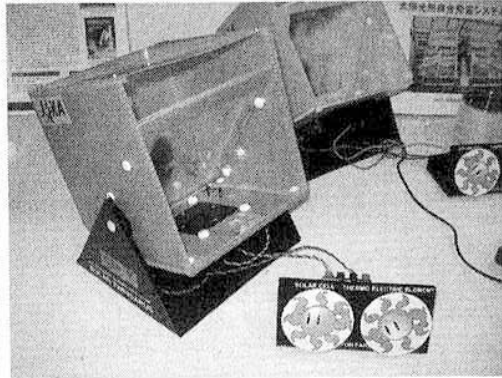
# 太陽の素晴らしさを子どもに

## 光と熱で効率発電

### ミウラセンサー研究所

【仙台】最先端の太陽エネルギー活用技術を教材に。ミウラセンサー研究所（仙台市泉区、三浦賀一社長、022・374・3207）は、太陽光と太陽熱を同時に使って効率的に発電する「太陽光熱複合発電システム」の模型を製作した。同システムの特許を持つ宇宙航空研究開発機構（JAXA）の協力を得た。小中学校向けの理科教材として、関連会社を通じて1月末に発売する予定。3年間で1万台の販売が目標だ。理科離れを防ぐきっかけとなることを目指す。

JAXAが協力、理科離れ防ぐ



小中学校向けの理科教材として製作した模型

模型の名称は「ソーラーツインザラス」。立方体の中に集めた太陽光を波長分離フィルターで光と熱に分け、光は太陽電池で、熱は熱電変換素子で電気に変える。最大出力は太陽電池が220ミリワット、熱電素子が7.1ミリワット。発電していることを示すためのプロペラが付属し、価格はプラスチック製のタイプで2万3000円。JAXAは06年に中国

## システムの模型 小中生の教材に

など共同で、太陽光熱複合発電システムの実用化に向けた耐久実験を砂漠地帯で行っている。模型は実機と比較すると約50分の1のスケールという。三浦社長が宮城県内の異業種交流会でJAXAの関係者と知り合いになり、「理科離れしている子どもに興味を抱かせるきっかけになるのでは」と声をかけられたことから、模型を製作した。三浦社長は「太陽光の素晴らしさを子どもたちに体感してもらいたい」と話している。

## 企業の個人情報保護を監査

### トップの指導に重点

プリンスキー（大阪市淀川区、山口智朗社長、06・6838・8858）は、企業の個人情報保護監査を行うサービスを始めた。プライバシーマークや情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）、個人情報保護法などに詳しく、同社の個人情報保護士やコンサルタントが監査を実施し、具体的な改善方法を指導する。価格は標準的な内容で2日間監査を実施した場合、約50万円。社員50人以上のIT企業などをターゲットに売り込む。09年に約1000万円、2011年に約5000万円の売り上げを目指す。

## 霧で有害ガス吸

セイコー排ガス処理機 化工機

【神戸】セイコー化工（兵庫県尼崎市、佐野喜之社長、06・6438・0841）は、送風機能と排ガス処理機能を一体化した排ガス処理装置「エコー回転体スクラバ」3機種を発売した。特殊形状の羽根車から発生させた微細な液滴で有害ガスを吸収除去する機構で、コンパクトで除去精度が高いのが特徴。価格は320万円〜450万円。

## 半導体のイオン活性化

### ウエハー、低温

【厚木】フェトン（神奈川県厚木市、榎孝社長、046・220・2931）は、パワー半導体（IGBT）のイオンを活性化させるレーザー熱処理装置「レーザーアニラ」LA-36YLを開発、受注を始めた。2種類のレーザーを合成し、非照射面を低温で熱処理

できるようにしたこと、シリコンウエハーへのダメージを抑えた。価格は標準タイプで3億円。初年度10台の販売を目標とする。同装置は、波長の異なる2種類のレーザーを用い、照射する深さを100〜1000マイクロメートル（100万分の1）でコントロールできる。シリコンウエハーは、YトリウムレーザーとIを合成し、厚さ1000度Cで場合、「面」で170度Cで面が生じて、

## 新栄電子計測器

4

研究開発に特化

自動車部品やPHS、携帯電話の計測器で会社は順

いたためだ。

90年代後半、技術力を前面に出した企業に作り替え

るために生産をすべて外注



一切の生産設備を「るまできた」と取り払い、研究開発を語る。今後は自社製発型企業への転身を図った。新たなビジネス

しながら、なんと外への販路拡大が納期に間に合わず、07年から大手で、欧米向け